

日高港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成18年7月

日高港港湾管理者
和歌山県

目 次

1. 変更理由	1
2. 施設計画に関する資料	2
2-1. 土地利用計画（変更）	2
3. 環境の保全に関する資料	3
4. その他の資料	3
4-1. 関係機関との調整等	3
4-2. 和歌山県地方港湾審議会委員名簿	4

1. 変更理由

塩屋地区において、地域の活性化を目指した新たな港湾空間を形成するため、土地利用計画を変更する。

2. 施設計画に関する資料

2-1. 土地利用計画（変更）

塩屋地区において、土地利用の具体化に伴い、地域の活性化を目指した新たな港湾空間を形成するため、土地利用計画を次のとおり計画する。

今回計画

(単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	交流 厚生 用地	工業 用地	交通 機能 用地	緑地	合 計
塩 屋	(15.7) 15.7	(6.8) 6.8	(1.0) 1.0	(26.8) 26.8	(5.2) 5.2	(10.6) 10.6	(66.1) 66.1

注1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

既定計画

(単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	交流 厚生 用地	工業 用地	交通 機能 用地	緑地	合 計
塩 屋	(15.7) 15.7	(7.8) 7.8		(26.8) 26.8	(5.2) 5.2	(10.6) 10.6	(66.1) 66.1

注1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。

[変更前]

[変更後]

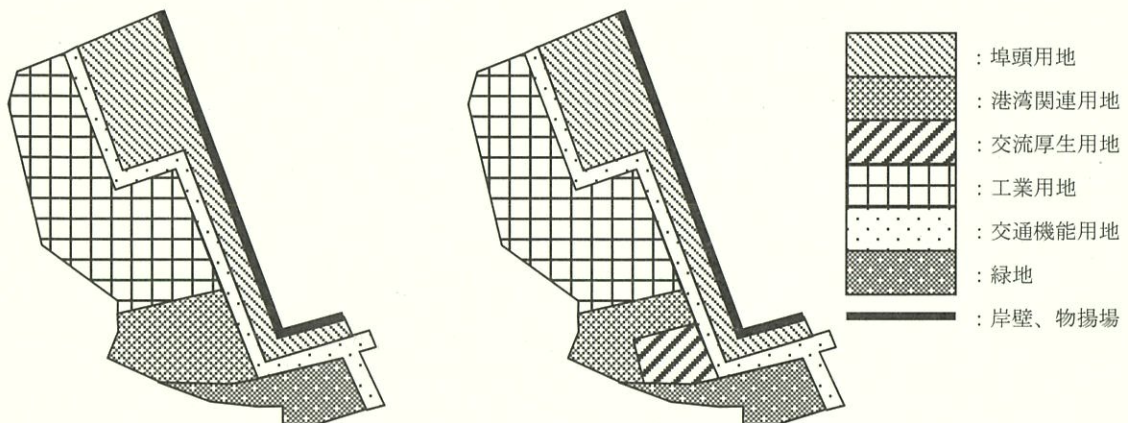


図2-1-1 土地利用計画変更前後対照図

3. 環境の保全に関する資料

今回の計画変更に伴う負荷の増加は軽微なため、環境に及ぼす影響は軽微なものであると考えられる。

なお、今後とも環境保全について十分配慮するとともに、計画実施にあたっては、工法、工期について検討し、十分な監視体制のもとに環境に与える影響を少なくするよう慎重に行うものとする。

4. その他の資料

4-1. 関係機関との調整等 別添資料参照

4-2. 和歌山県地方港湾審議会委員名簿

平成18年7月10日現在

(敬称略、順不同)

委員の種類	氏名	職名	
第1号	黒田勝彦	神戸市立工業高等専門学校校長・神戸大学名誉教授	
	濱田學昭	和歌山大学システム工学部教授	
	辻本勝久	和歌山大学経済学部助教授	
	中田尚子	和歌山信愛女子短期大学教授	
	高山知司	京都大学防災研究所教授	
	上村多恵子	京南倉庫(株)社長	
	谷奈々	和歌山社会経済研究所主任研究員	
	東恵子	(社)日本港湾協会理事(東海大学短期大学部教授)	
	第2号	田廣芳弘	和歌山県海運組合理事長
小野雄作		前和歌山港運協会会長	
小池康雄		和歌山商工会議所副会頭	
岡本永興		全日本海員組合大阪支部長	
大場朝男		和歌山下津水先区水先人会会長	
吉田擴		御坊商工会議所会頭	
中川藤吉		日高木材協同組合理事長	
田中丸和男		和歌山県港湾協会副会長	
岩田幸男		和歌山県漁業協同組合連合会代表理事会長	
坂本敏夫		和歌山港運協会会長	
第3号		大橋建一	和歌山市長
		神出政巳	海南市長
	玉置三夫	有田市長	
	柏木征夫	御坊市長	
	入江勉	美浜町長	
第4号	向井嘉久藏	和歌山県議会議員	
	尾崎太郎	和歌山県議会議員	
第5号	森川卓也	大阪税関長	
	谷口克己	近畿運輸局長	
	黒澤正三郎	田辺海上保安部長	
	日高秀希	和歌山下津港長	
	藤本貴也	近畿地方整備局長	
第6号	小佐田昌計	和歌山県副知事	